

ReKisstory

Findセクションマニュアル

2024-06-05

杉本豪

Findセクションとは何ですか？

- 同じパターンの「事実アイテム」(下記参照)を検索してリスト化します。
- パターンを指定します。探しているアイテムの種類 (人物、映画、絵画、条約など) そして [アイテムの共通点](#) (場所、時間、関係など)
- 例: パターンを使用して、リストを作成できます
 - [ハリソン・フォードが主演した映画](#)
 - [アムステルダム](#)の街が所有した [絵画](#)
 - [ハーグ](#)で作られた [条約](#)
 - [1960年から1980年まで](#) [ニューヨークに住んでいたミュージシャン](#)
- パラメーターに応じて、結果をテーブル、マップ、タイムラインビューで表示します。
- どのアイテムが存在するかわからない場合に使用してください (例: ハリソン フォード主演の映画が何本ありますか?)。比較する項目がわかっている場合 (例: 「インディ・ジョーンズと最後の聖戦」、またはハリソン・フォード)、「比較」セクションを使用してください。
- テストとして [クエリパターンの例](#) から始めてみてください。その後、自身のニーズに合わせてクエリを調整してみてください

事実アイテム (Fact Item) とは何ですか？

- ReKisstoryで検索できるデータ
- ウィキペディアの記事エントリとほぼ同じ
- 人、場所、本、映画、製品、出来事、建物、惑星、動物、植物、惑星、化学元素、システム、理論、アイデア、概念など。名前があり、ウィキペディアで見つけることができるものほぼ全て。
- すべてのアイテムには、接頭辞 Q が付いた一意の識別子が付いています (例: [人間 \(Q5\)](#)、[ハリソン・フォード \(Q81328\)](#))
- さらに、事実アイテム同士を接続するリレーションがあります。すべてのリレーションには、接頭辞 P が付いた一意の識別子が付いています (例: [居住地 \(P551\)](#)、[...のメンバー \(P463\)](#))
- 1 億以上のアイテムが登録されています (ソース データは [ウィキデータ](#))、そして [11,000以上の関係](#) が存在します

Findセクションはどのように機能しますか？

Findセクションは、入力ボックス (パラメーター) が多数あるため、初めて使用するユーザーにとっては複雑かもしれません。事実アイテム (Q プレフィックス) とリレーション (P プレフィックス) を指定して、クエリ パターンを形成します。Findセクションで迷った場合は、説明 (Instructions) ボタンをクリックして説明を参照してください。上部のタブをクリックすると 2 つのモードを変更できます。

- シンプル・モード
 - ユーザーは入力ボックスでクエリ パターンを指定します (ドロップダウン メニューと自動提案)
 - アイテム・タイプ (A) は必須です。検索したいアイテムの種類です。
 - クエリ パターンには次のものを含めることができます。述語 (D)、オブジェクト (E)、開始日 (F) そして 終了日 (G)
 - クエリパターンは文章のように読むことができます: 「居住地 (D) が ニューヨーク (E) の人間 (A) 」をリストしてください
 - アイテム・タイプ (A) を指定してフィルタリングできます。特性 (B) そして 特性タイプ (C)。特にアイテム・タイプ (A) が Q5 人間の場合、結果が多すぎることを避けるために使います
 - アイテムの自動提案を表示するには、少なくとも 3 文字の入力を開始してください
- アドバンスド・モード
 - シンプル モード と同様ですが、ドロップダウン メニューはありません (つまり、すべて自動提案付き)、さらに結果の表示方法を指定することができます
 - 選択するのではなく、できる限り自動提案による入力なので柔軟性がある。ただし、残念な結果 (結果なし、結果が多すぎる、タイムアウト) を避けるためには、ソースデータとオントロジー (Wikidata) に関するより多くの経験が必要です。注意してください
 - 開始日と終了日の入力の柔軟性が高い。ユーザーはタイム スライダーでではなく、YYYY-MM-DD を手動で入力することもできます
 - 「コンテキスト タイムライン」には、法王、日本の元号、国家元首などのタイムラインの期間が含まれるため、事実アイテムをコンテキスト内で並べて表示できます
 - 「結果の最大数」が変更可能 (デフォルトは 100)
 - 結果のデータラベルの「言語」を変更可能

結果には次のものが含まれます。

- テーブルビュー: 事実アイテムに関するデータを表形式で表示する
- マップビュー: 事実アイテムの空間次元 (地理座標) を示します。近い場所の同じものはグループ化されます
- タイムラインビュー: 事実アイテムの時間的次元 (時点と期間) を示します。データが存在する場合、アイテムの寿命 (誕生日や死亡日など) が点線で表示されます
- ダウンロードセクション ユーザーは事実アイテムの結果とコンテキスト タイムライン データをダウンロードできます

- グラフビュー: クエリ パターンの関係以外のアイテムの関係を (ネットワークで) 表示します

クエリのヒント

- まず開始日と終了日を指定せずにパターンをテストします。タイムアウト エラーが発生するかどうかを確認します。このような場合は、期間 (または時点) で検索を絞り込みます。これはデータが膨大ですが、希薄であるためです。結果の数を事前に推測するのは困難なので、テストすることをお勧めします
- オブジェクト(E)を指定せずに述語(D)を指定できます。たとえば、項目タイプ (A) が人間 (Q5) で、述語 (D) が住居 (P551) である場合、クエリは「どこかに」住んでいた人を検索します。これにより、アイテム タイプを単に人間 (Q5)と指定したよりも、検索が絞り込まれます。同様に、開始日 (F) と 終了日(G)を指定しないと、このクエリは、「いつか」「どこかに」住んでいた人々を検索することになります
- アイテム・タイプ(A)、述語(D)、オブジェクト(E) は、これらの組み合わせが適切な場合にのみ期待するような結果が得られます。間違った組み合わせを入力すると、結果は得られません (以下の点を参照)。同様に、アイテムタイプ(A)、特性(B) そして 特性タイプ(C) も組み合わせでのみ動作します
- 述語(D)の関係の範囲に注意してください (つまり、どの事実アイテム同士の接続が許可されているかが重要になります)。たとえば、述語(D)に居住地(P551)を指定した場合、オブジェクト(E)にHarrison Ford (Q81328) のような人物を指定することはできません。パリ(Q90)のような場所を指定する必要があります
- 関係の方向性に注意してください 述語(D)(つまり、事実アイテムを配置する位置です)。タイプ(A) とオブジェクト(E)を逆の位置に指定する間違いをしやすいので、注意してください。なぜなら、述語(D) は双方向に意味が通じる訳ではないからです。たとえば、<グスタフ クリムト> <生徒> <エゴン シーレ> は正しいですが (つまり、グスタフ クリムトはエゴン シーレの教師です)、<エゴン シーレ> <生徒> <グスタフ クリムト> は誤りです。方向性を間違えらぬ結果を招く可能性があります。

ちょっと使いにくいですね...

- 初めて表計算ソフトウェアを使用するのと同じように、最初は少し難しいことは承知しています。基盤となるデータとクエリ パターンが複雑であるためです
- 時間を費やすほど、より簡単になってくるでしょう。少しずつ学んでいくことをお勧めします
- ReKisstory は、Google のような通常の検索エンジン (リソース検出ツール) ではなく、分析ツールです
 - 検索エンジンよりも多くのパラメータを指定しなければなりません
 - 多くのリソース検出ツールは便利ですが、多くの場合、どの検索結果が自分にとって役立つのかを把握する必要があります。ReKisstory は検索結果を正確に表示するので、その必要性は低くなります
 - 検索エンジンと同じ応答速度を期待しないでください。ReKisstory は、1 億を超えるデータをオン・ザ・フライで検索し、時間の計算などにも時間がかかります

- 色々試してみて、クエリ パターンを微調整する方法を学ぶと良いでしょう。Findセクションをより効果的に使用するには、次の知識が必要です。[ソース データ構造 \(つまり、Wikidata オン トロジー\)](#)
- [クエリパターンの例](#)を出発点として使ってください。どの入力に何を入力すればよいのかがわかります。ニーズに合わせて例を調整してください。定義できるパターンは限られていますので、学習するのは実際それほど難しくありません
- ご意見をお聞かせください。ReKisstory は時間をかけて改善するよう努めます

シンプルモード

同じパターンのアイテムをリストする

A から G までの入力ボックスでパターンを指定します。一部の入力ボックスは事前定義されたドロップダウン メニューです。

アイテムタイプ(A) リストしたいアイテムの種類です: 人間、建物、絵画など

述語(D) アイテム タイプ (A) とオブジェクト (E) の間の関係: 居住地、勤務地、所有者など

オブジェクト(E) 品目タイプ (A) のオブジェクトです: ニューヨーク、インドネシア、Apple Inc など

クエリ パターンを文のように読みます (下のスクリーンショットの例): <ニューヨーク>が<居住地> の<人間> をリストしてください。

リストに表示されるアイテムの種類 (アイテムタイプA) を指定します。
これは必須フィールドです。!

- ✓ Human
- Building
- Archaeological site
- Tourist attraction
- Square
- Painting
- Drawing
- Manuscript
- Print
- Scholarly article
- Codex
- Musical work/composition
- Film
- Photograph
- Dramatico-musical work
- Album

述語 (D) はアイテム・タイプ (A) とオブジェクト (E) のリレーションを指定します

- ✓ None
- residence (E: Place)
- work location (E: Place)
- owned by
- participant in (E: Event)
- creator (E: Person or Group)
- location (E: Place)
- country (E: Country)
- contributor to the creative work or subject (E: Person or Group)
- partnership with
- official language (E: Language)
- capital (E: City)
- contains the administrative territorial entity (E: Place)
- headquarters location (E: Place)

アイテム・タイプ (A) の
オブジェクト (E)

Q60:New York City most populous city in the United States
Q99673783:New York City New York City as depicted in Star Trek
Q7013127:New York City band
Q111668100:New York City Song by Tee Cloud
Q114518687:New York City episode of Drinking Made Easy (S1 E10)
Q63438423:New York City 2019 song by Kylie Minogue
Q16998793:New York City song by the British glam rock band T. Rex

Find Items

Simple Advanced

Instructions

item type
Human

Filter (RECOMMENDED)
Filter by a characteristic
None Type object of the filter C

Predicate: an action/event of the entity especially Human
None

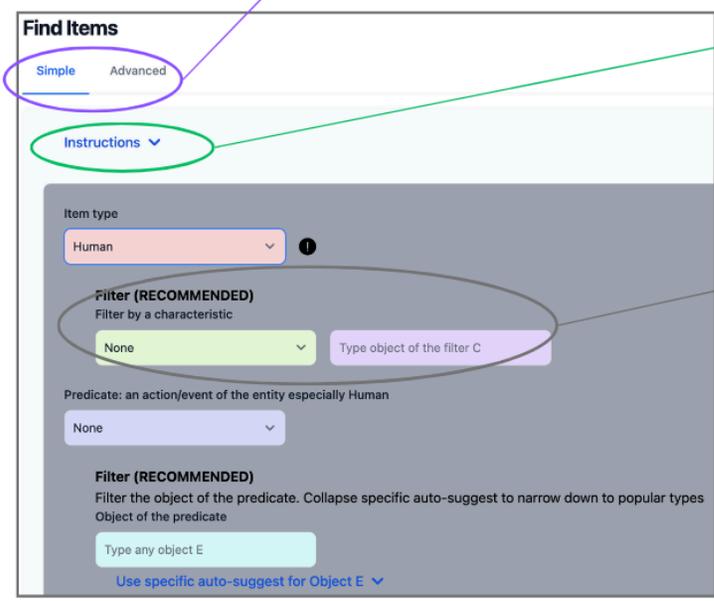
Filter (RECOMMENDED)
Filter the object of the predicate. Collapse specific auto-suggest to narrow down to popular types
Object of the predicate
Type any object E
Use specific auto-suggest for Object E

<アイテム・タイプ (A)> <述語 (D)> <オブジェクト (E)> は文章のように読んでください
<居住地> が <ニューヨーク> である <人間> をリストしてください
(日本語だと語順が英語の逆になるので注意)

特性(B) アイテム タイプ (A) とオブジェクト (C) の間の関係: 職業、性別/性別、メンバーなど
 特性タイプ(C) アイテム タイプ (A) のオブジェクト: ミュージシャン、女性、J.F ケネディなど
 結果が多すぎるのを避けるために、B と C を指定することをお勧めします (特に項目タイプ (A) が人間 Q5 の場合)

クエリ パターンを文のように読みます (以下のスクリーンショットの例)。<職業>が<ミュージシャン> の<人間>
 上記のパターンと合わせて(<ニューヨーク>が<居住地> の<人間>)、
 あなたが検索するのは、<職業>が<ミュージシャン> で<ニューヨーク>が<居住地> の<人間>

シンプル・モードとアドバンス・モードの切り替え



迷った場合に参照してみてください

フィルター: アイテム タイプ (A) の条件/特性を追加して検索を絞り込みます。特性 (B とタイプ C) は同時に入力する必要があります。アイテム タイプ (A) が Human Q5 (クエリ タイムアウト) の場合、結果が多すぎるのを避けるために推奨されます

- ✓ None
- occupation (C: Job title)
- sex or gender (C: Sex/gender)
- member of (C: Group)
- family name (C: Name)
- unmarried partner (C: Person)
- father (C: Person)
- mother (C: Person)
- child (C: Person)
- student (C: Person)
- sibling (C: Person)

- Q639669:musician person who composes, conducts or performs music
- Q6942593:Musician rank equivalent to Private held by members of the C
- Q83554686:Musician painting by Emily Eden
- Q21621299:Musician painting by Florent Willems
- Q28127166:Musician painting by Charles Demuth
- Q20810288:Musician painting by Antoine Vollon
- Q28005652:Musician painting by Seifert

<アイテムタイプ(A)> <特性(B)> <特性タイプ(C)>
 <人間>の<職業>は<ミュージシャン>である、という文章のように読んでください。

**Q: 特性 B と述語 D の違いは何ですか？
(および対応する特性タイプ C およびオブジェクト E)**

A: 直感的ではありませんが、一般的に言えば、B は C とより永続的な関係を持っていますが、D は、E と (イベントに関して) より時間的な関係を持ちます。アドバンスト モードでは、D 入力に B を入れることもできます。

ここにスライダーの値が表示されます。年を手動では入力しないでください

ポイントを調整して、日時または開始日 (期間を指定したい場合) を設定します

Starting date or Point in time

AD/CE

Start date F (YYYY)

0000

0500

1000

1500

2000

2500

End date

✓ AD/CE

BC/BCE

End date G (YYYY)

0000

0500

1000

1500

2000

2500

上記の開始日と組み合わせて期間を指定したい場合にのみ使用してください

西暦と紀元前を変更します。BC/BCEの場合、終了年は開始年よりも数値を低くする必要がありますので注意してください

アドバンスモード

様々なオプションを備え、シンプルモードよりも柔軟ですが、Wikidata オントロジーに関するより多くの知識が必要です
事前定義されたドロップダウンメニューはありません。すべては自動提案によって入力する必要があります

YYYY-MM-DD を入力して手動で日時を指定することができます。その他のオプションには、タイムラインの背景情報、結果の最大数、結果表示の言語などがあります

タイムラインに追加する背景情報（期間）を選択します。

- ✓ None
- Popes
- Japanese Era
- Historical countries, Sovereign states, Countries
- Eras or dynasties
- Head of states, presidents, prime ministers

結果の最大数を調整します（通常は100件）

- 300
- 200
- ✓ 100
- 50
- 10

自動提案に結果の優先言語が入力されます（入力されていない場合はデフォルトで英語になります）

- slov
- sk:Slovak
- sl:Slovenian

手動で時点または開始日（期間を指定したい場合）（F）と終了日（G）を入力します。日付は述語（D）に関連付けられます
ISO8601 形式（YYYY-MM-DD）
BC/BCE の場合は、YYYY の前にマイナスと二重ゼロを追加します（-000400-01-01 は紀元前 401 年 1 月 1 日です）
日付の仕様の詳細については、結果ページの注記セクションを参照してください
タイムスライダーが設定されている場合、この機能は使用できません

YYYY-MM-DD input ▾

ISO8601 (YYYY-MM-DD etc). You can add more Ys in front. Add prefix 'Starting date or Point in time (0001-10-03, -12000-01-01)

Specify start date F

End date (1866-12-25, -0030-07-12)

Specify end date G

Contextual timeline will be displayed next to your main search results
Specify the type of contextual timeline

None ▾

Max number of results

100 ▾

Language for your search results (default: English)

Start typing here to find a language

結果

合計結果の数とクエリ時間 (秒)

ここでの数字に基づいてクエリを微調整すると良いでしょう (60 秒は長いとみなされます)

Total Results: 5818 (Max 100 shown)

12.741 seconds

Entities of [painting](#) whose is , being/having [collection Rijksmuseum](#) during None - None (years months)

 Many results: consider narrowing your conditons to avoid query time-out (Specify dates F & G; Use narrower concept of Object E; Add Filter B & C). You may want to check examples of [paintings](#) and if they have time info

 If table, timeline, and map presentation look strange, check the fact in the table too. They may be due to the irregularities of the source data (e.g. multiple-dates for one event, age mis-calculation may occur especially when there are multiple dates or data absence). Sometimes Wikidata has discrepancy between the raw date (RDF) and displayed label (HTML) If there are bugs in ReKisstory, [contact and help us to improve!](#)

テーブルビュー

結果のリストを表に示します。各行には、入力パターンに一致する事実アイテムが表示されます
 デフォルトでは、開始日時欄で(日付なし、早い日付から遅い順)順に並べ替えられます。

以下の例は、ユーザーが次のように検索した場合の結果画面です。 <人間> (A) <職業> (B) <ミュージシャン> (C) <居住地> (D) オブジェクト (E) 指定なし、滞在日時は
 1960年 (F)と 1970年 (G)。結果は、さまざまな居住地を持つミュージシャンのリストとなります

キーワードを入力して結果をフィルタリングします

A、B、C、D、Eは文章のように読めます (英語と語順が異なるので注意)
 <Varschavchik> の<職業>は<ミュージシャン>で、<1968-06-17> から<1990-01-01> まで<居住地>は<トムスク>でした
 この行はクエリパターンに一致した項目の1つです。列に表示されるデータは入力内容によって異なります。

Filter your results with a keyword
 Type a keyword...

(述語の) 開始日時と終了日時におけるアイテムの年齢

Image	Item (A)	Description	Character (B)	Character (C)	Relation (D)	Object (E)	Object Image	Start Time	Start Age	End Time	End Age	Data Source	Fact Source
	Dmitry Varshavchik (1968-06-17 - No death date Died at the age of ?)	Russian guitarist	occupation	musician	residence	Tomsk		1968-06-17	0 years old during lifetime	1990-01-01	21 years old during lifetime	Wikidata	Check this fact
	Igor Stravinsky (1882-06-17 - 1971-04-06 Died at the age of 88)	Russian composer (1882-1971)	occupation	musician	residence	New York City		1969-01-01	86 years old	1971-01-01	88 years old	Wikidata	Check this fact

アイテムの写真

並べ替え

オブジェクトの画像 (利用可能な場合)

この情報の出所を確認できます (ソースのウェブサイトと記述の正確な詳細)

タイムラインビュー

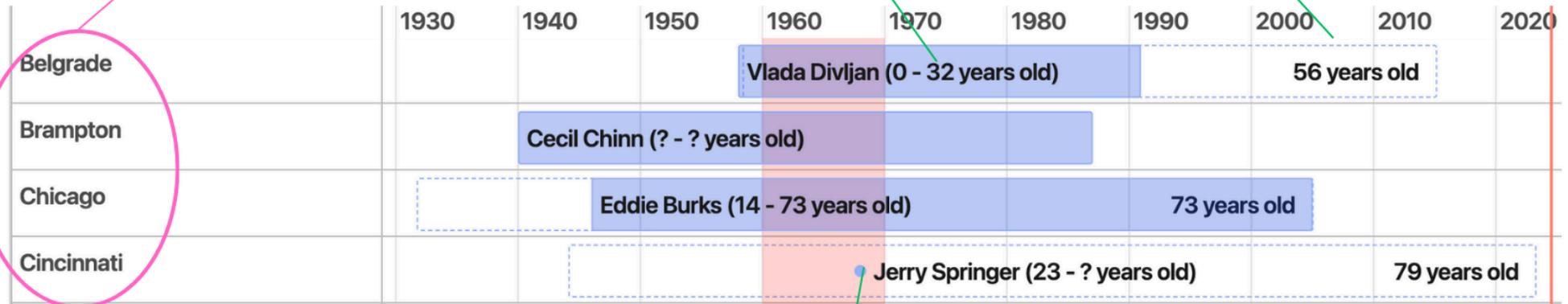
事実アイテム(ライフタイムイベント)に関する時間軸データがタイムラインにプロットされます

左側の列のオブジェクト (E) によってグループ化されます。マウスホイールを使用してズームインおよびズームアウトできます。アイテムの計算された年齢も含まれます。プロット上のリンクをクリックすると、出所情報にジャンプします。タイムライン上の項目をクリックすると、その項目を削除してタイムラインを整理することもできます

実線で表示される青の棒グラフが述語 (D) 入力に関連付けられた時間 (例: 居住期間) です。ユーザが指定した時間 (赤色の領域/線) と重なるので、ここに表示されたアイテムが検索結果ということになります

アイテムはオブジェクト (E) (ユーザ未指定の場合) でグループ化されます

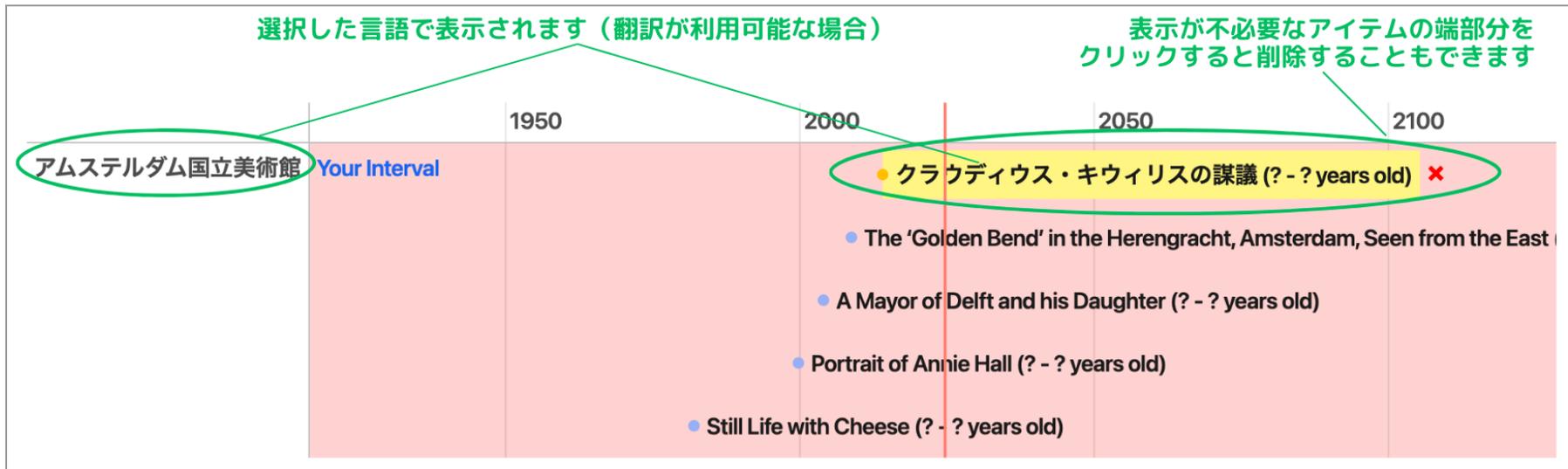
点線の棒グラフは、アイテムの存在期間を示します (データが存在する場合) (例: 生年月日と死亡日の人間の生存期間)



赤い線または領域は、ユーザが指定した時点または期間 (開始日と終了日) を示しています

現日時

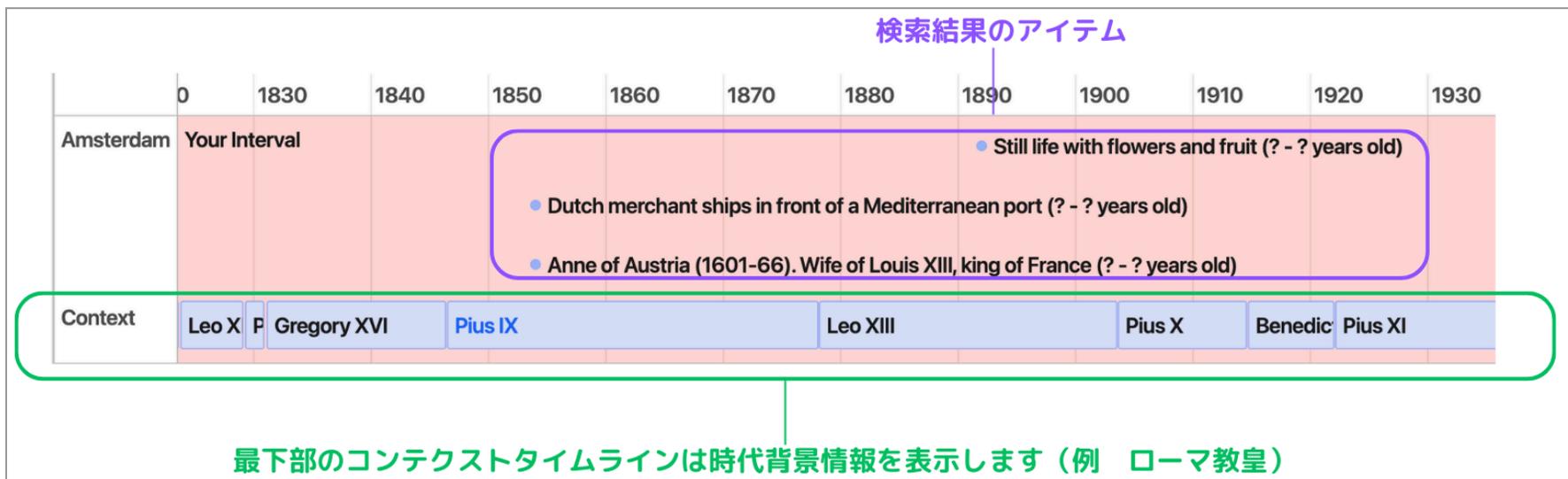
日付は期間ではなく一時点であることがあります (例: 開始日時または終了日時が不明または利用できない場合)



Q: アドバンス・モードでの「コンテキスト タイムライン」は何をしますか？

A: タイムラインの下部に、その時点(期間)の背景情報が表示されます。

検索結果のコンテキストとしてこのような期間を確認すると便利かもしれません。例: 絵画を検索すると教皇が表示されます



ダウンロード

検索結果とコンテキスト タイムライン (上記を参照) を CSV ファイルとしてダウンロードできます。

Download data in CSV

Download context data in CSV

マップビュー

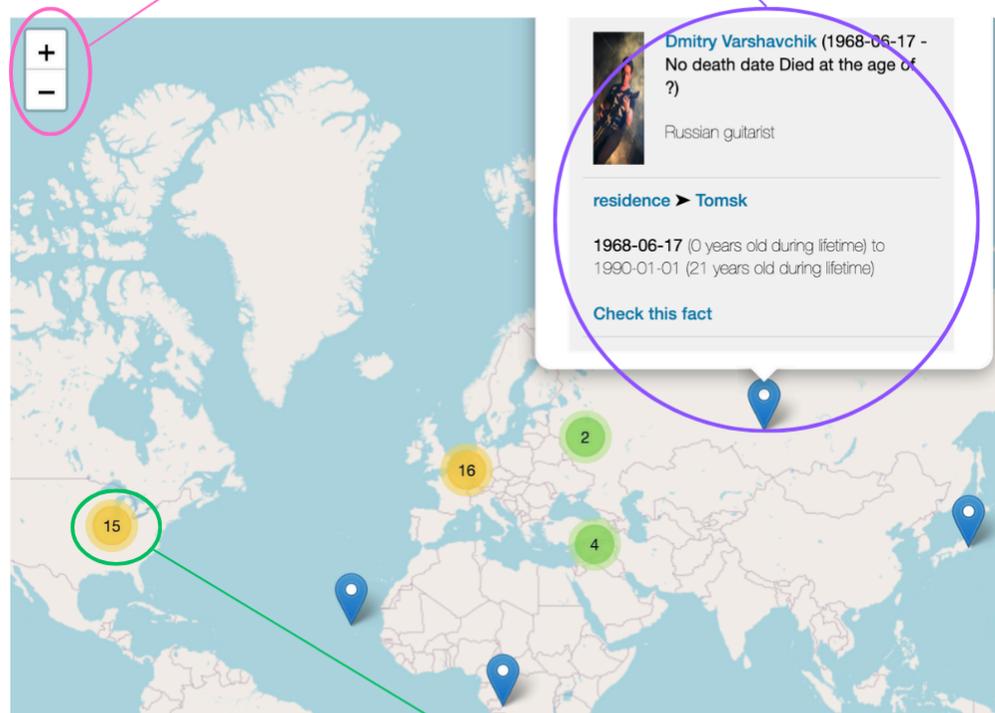
空間座標が利用可能な場合、アイテムは地図上にプロットされます。

マウスホイールまたは左上隅のボタンを使用してズームインおよびズームアウトします。

ピンをクリックすると詳細が表示されます。ポップアップ ウィンドウ内の多くのハイパーリンクはクリック可能です

拡大・縮小できる

アイテムをクリックすると詳細が表示されます



同地点あるいは付近のアイテムはまとめられ、アイテムの数が数字表示されます
数字をクリックすると個別のアイテムを選択できるようになります

グラフビュー

結果のアイテム間に他の (直接の) 関係が存在する場合は、それらを検索します。
検索結果は、指定した共通の特徴/パターンを持つアイテム (ローマに住んでいた人など) です。
しかし、それらは他の方法で相互に関連している可能性があります。

たとえば、親戚、友人、学生、またはお互いに影響を受けている人もいます。グラフビューにはそのような関係が表示されます

